

事業所名

きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ

支援プログラム

作成日

2024年

12月

3日

法人（事業所）理念		難聴児がその人らしく社会で活躍する日まで一貫した居場所を提供します								
支援方針		「きこえ」を活用し、言語力、コミュニケーション力を育てることを目標にします。難聴を含めた個人の特性を生かし、周囲と共存して社会で活躍する方法を考えます。								
営業時間		平日 土曜	11時 09時	00分 00分	から 18時 17時	00分 00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	生活リズムの形成、日常生活スキルの獲得と向上、自立に取り組みます。保護者から生活の様子を聞き取り助言を行うとともに、療育の中で身の回りのことがらについての自立に向けて段階的に取り組みます。								
	運動・感覚	姿勢と運動、動作の発達の促進を段階に合わせて行います。楽しい活動の中で四肢、手先の自発的な動きを誘導し、経験が積み重なるようにします。								
	認知・行動	聴覚とその他の感覚の統合をはかります。きこえや補聴状態を確認した上で、きく、見る、触る等の感覚を活用した活動に誘導し、知覚を統合してよくわかり、楽しむ経験が積み重なるようにします。								
	言語 コミュニケーション	聴覚を活用した言語・コミュニケーションの発達を促します。補聴状態や活動中での聞き取り状況を専門職が確認し、人との関わりのなかでことばの獲得が進むよう、発達に即したプログラムを積み重ねます。発音指導等で音声によるコミュニケーションに自身が持てるようにします。きこえを活用したことばの発達の進展のために日常生活の中で適切な刺激が受けられるよう環境調整を行います。								
	人間関係 社会性	相手の存在を意識し働きかけへの注目を維持することを通じて、きこえを活用した人との関わりの経験を積み重ねるとともに、やりとりできる相手の拡大をはかります。同年齢グループ活動、異年齢交流プログラムのなかで場面の状況と自分の気持ちを認識し調整し、仲間と協同する経験が積み重なるようにします。								
家族支援		・保護者から生活場面での様子を確認のうえ、障害理解を深める取り組みについて具体的に話し合います。 ・保護者講座・交流、きょうだい支援を実施します				移行支援		・就学前施設との情報共有と連携を行います ・学校と情報の交換をします ・進路の相談を行います		
地域支援・地域連携		・地域連絡会へ参加しています ・関係機関との事例検討会を実施しています				職員の質の向上		・事例検討会を定期的（週1回）に開催しています ・事業所内で職員研修を実施しています ・外部研修、学術集会への参加の機会を設けています		
主な行事等		・季節の行事（七夕、夏祭り、新年会）を行います ・異年齢交流、保護者交流を行います ・テーマ別行事（セルフ・アドボカシー、補聴機器の最新情報、体験談の講演）を行います								